

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



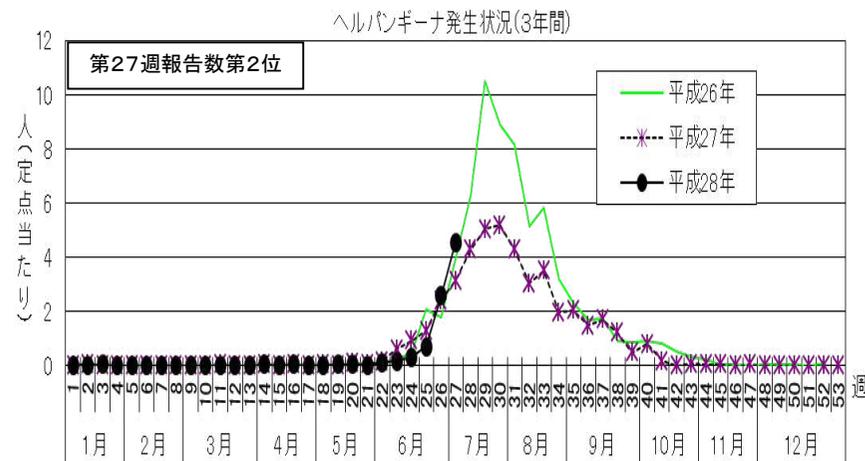
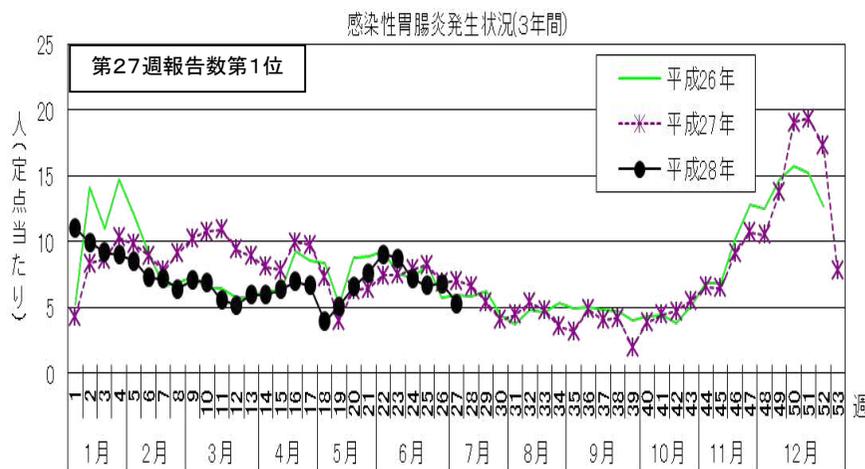
平成28年7月4日（月）～平成28年7月10日（日）〔平成28年第27週〕の感染症発生状況

第27週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.30人と前週（6.81人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は4.54人と前週（2.57人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.16人と前週（3.70人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



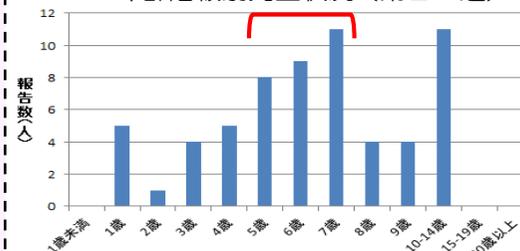
## 増えています！！～流行性耳下腺炎～

第27週の流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が1.68人となり、前週の0.86人から急増しています。特に、高津区で定点当たり報告数が4.83人と、注意報基準値（3人）を超えました。また、年齢階級別では、5～7歳での報告が多くなっています。

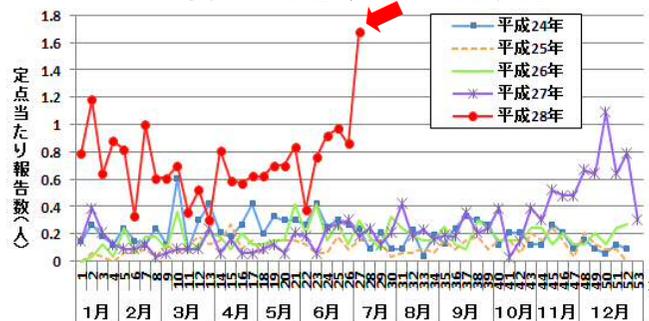
### 特徴

- 2～3週間の潜伏期間（平均18日前後）
- 主症状は、耳下腺（両側あるいは片側）の突然の腫れと痛み、発熱
- 通常は7～10日で軽快
- 感染しても症状が出ない人（不顕性感染者）が1/3程度

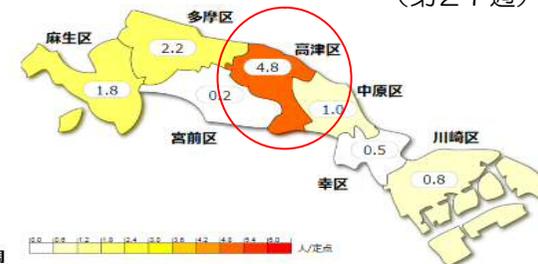
川崎市の流行性耳下腺炎  
年齢階級別発生状況（第27週）



川崎市の流行性耳下腺炎発生状況



川崎市の流行性耳下腺炎分布マップ  
（第27週）



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)